

シラバス参照

科目名	建築学アドバンス I (前半)
科目名(英字)	Advanced Architecture I
ナンバリング	11CF18
年次	4年次
単位数	1
期間	前期(前半)
担当者	本田 昌昭(ホンダ マサアキ) 岡山 敏哉(オカヤマ トシヤ) 寺地 洋之(テラジ ヒロユキ) 吉村 英祐(ヨシムラ ヒデマサ) 吉田 康弘(ヨシダ ヤスヒロ) 河野 良坪(コウノ リョウヘイ) 藤井 伸介(フジイ シンスケ) 今川 光(イマガワ ヒカル) 大島 芳彦(オオシマ ヨシヒコ) 西田 司(ニシダ オサム) 吉田 哲(ヨシダ テツ)

授業のねらい・概要

本授業の位置付けは、大学院進学、あるいは、専門基礎知識のさらなる定着を志望する学生のためのキャリア形成支援の一環である。本授業はクォーター科目であり、前半の「建築学アドバンス I」が計画・環境分野、後半の「建築学アドバンス II」が構造・材料分野を対象とし、各分野における1～3年生次に修得した専門基礎知識の定着を支援する演習課題に取り組むとともに、最新の研究事例、修士研究や建築技術職に臨む姿勢について学ぶ。
特に、大学院の内部進学者及び大学院入試を経て大学院進学を志望する学生は、原則、本授業を必ず受講すること。

授業計画

	テーマ	内容・方法等	予習／復習
第1回	建築計画	【建築計画1】安全・安心な建築デザインを考える 【建築計画2】公共性、公共空間を考える	予習：建築に要求される安全性能について事前に調べておくこと。(2時間) 復習：建築の安全性を考慮したデザインの事例を調査し、レポートにまとめる。(2時間)
第2回	歴史意匠・都市計画	【歴史・意匠】「建築とは何か」を問うことの意味とその方法 【都市計画】タウンスケープ、アーバンデザイン、まちづくりのルール。	予習：歴史意匠・都市計画の基礎知識の習得(4時間) 復習：講義を聞いて思考の再整理(2時間)
第3回	建築設計	建築デザインの新潮流、建築設計即日課題	予習：建築設計の基礎知識の習得(2時間) 復習：講義と演習を経て思考を再整理(2時間)
第4回	建築環境工学	建築設計と環境シミュレーション	予習：建築環境工学の基礎知識の習得(2時間) 復習：講義を聞いて思考の再整理(2時間)
第5回	まちと建築のリノベーション	リノベーションの最新事例と可能性とワークショップ	予習：指定図書 of 熟読及び内容分析(2時間) 復習：講義とワークショップを経て思考を再整理(2時間)
第6回	エリアマネジメントと建築設計	エリアマネジメントと建築の最新事例と可能性とワークショップ	予習：指定図書 of 熟読および内容分析(2時間) 復習：講義とワークショップを経て思考を再整理(2時間)
第7回	建築環境計画・設計	バナキュラーな建築から学ぶ建築環境設計と環境デザインの新潮流とワークショップ	予習：指定図書 of 熟読および環境設計の調査(2時間) 復習：講義とワークショップを経て思考を再整理(2時間)

到達目標

【ミニマム・リクワイアメント】

以下に示す到達目標(1)～(6)について、下記の「評価方法」に従ってはかった達成度が総合して60%を満たしている(「成績評価基準」が「D」である)。

【到達目標】

- (1) これまでに習得した建築計画に関する専門基礎知識を用いて、専門基礎を問う問題に取り組むことができる。
- (2) これまでに習得した歴史・意匠に関する専門基礎知識を用いて、専門基礎を問う問題に取り組むことができる。
- (3) これまでに習得した都市計画に関する専門基礎知識を用いて、専門基礎を問う問題に取り組むことができる。
- (4) これまでに習得した建築設計に関する専門基礎知識を用いて、専門基礎を問う問題及び設計に取り組むことができる。

- (5) これまでに習得した建築環境工学に関する専門基礎知識を用いて、専門基礎を問う課題に取り組むことができる。
 (6) 最新の研究・設計事例に対して、自ら文献等の調査を行い、それらをレポートとしてまとめることができる。

評価方法 (1)到達目標(1)～(4):問題および演習課題への取り組み(評価割合30%)
 (2)到達目標(5):レポートの内容(評価割合40%)
 (3)専門基礎知識(大学院入試レベル)の定着確認テスト(評価割合30%)
 を総合的に評価する。

【欠格条件】
 各回に課せられるレポートが未完成あるいは未提出の場合、本単位を修得できない。

成績評価基準 【成績評価】
 A:全到達目標を総合的に90%以上の達成度で習得した。
 B:全到達目標を総合的に80%以上の達成度で習得した。
 C:全到達目標を総合的に70%以上の達成度で習得した。
 D:全到達目標を総合的に60%以上の達成度で習得した。
 F:上記以外

教科書	書名	著者名	出版社名
1.	配布プリント		

参考書

受講心得
 ・各分野における総復習を実施し、専門基礎知識の定着をはかること。
 ・「何を学ぶのか？」ではなく、「これまでに何ができるようになったのか？」あるいは「何ができないままているのか？」に着眼し、専門分野に関する能力の向上に励むこと。
 ・修士研究や建築技術職に対して、合理的に取り組むことのできる姿勢及び集中力を身に付けること。
 ・授業中における問題・課題に対するフォローは、講義内にて行う。
 ・レポートに関する質問等は当該授業の前後およびオフィスアワーにて対応する。

オフィスアワー
 [吉村] 火曜日6限(場所:2号館5階 吉村教授室)
 [岡山] 火曜日5限(場所:2号館5階 岡山教授室)
 [寺地] 木曜日5限(場所:2号館5階 寺地教授室)
 [本田] 火曜日6限(場所:2号館5階 本田教授室)
 [吉田] 火曜日6限(場所:2号館5階 吉田教授室)
 [河野] 月曜日5限(場所:2号館5階 河野准教授室)
 [藤井] 月曜日6限(場所:2号館5階 藤井准教授室)
 [今川] 月曜日5限(場所:2号館5階 今川助教室)
 [大島・西田] 授業後に対応

実践的教育 【実践的教育】都市計画コンサルタント、自治体の審議会委員、建築設計事務所、などでの実務経験を持つ教員が、その経験を活かして講義する。